

平成26年7月12日  
知床森林生態系保全センター

## 隣接地域におけるエゾシカ捕獲事業計画（案） （平成26～28シカ年度）

- 1 北海道森林管理局では、平成25年度から遺産地域に隣接するウトロ地区での捕獲事業等を開始したところであるが、今年度から捕獲の規模や手法を拡大し、ウトロ地区（S07）から真鯉地区（S10）にかけての捕獲を強化する。
- 2 この地域は希少猛禽類が高密度に生息していることから、捕獲方法は囲いわなを主体とし、銃を用いた捕獲と林道等の除雪による一般狩猟支援を組み合わせる。囲いわなは、積雪期にエゾシカの集結する海岸沿いに約1 km 間隔で配置することを基本とし（誘引可能範囲を500 mと想定）、地形条件や道路工事等のため囲いわな間隔が大きく広がる箇所においては銃を用いた捕獲の検討を行う。
- 3 捕獲時期は、鳥獣保護区及びシカ捕獲禁止区域においては12月から3月、可猟区では可猟期間終了後の3月を基本とし、年度末・年度初めの「捕獲実施空白期間」の解消を図るため、利用希望者への囲いわな貸し出し（協定）を検討する。
- 4 囲いわなの設置は積雪前に完成させることとするが、オジロワシの餌場となっている河川近くに設置する場合には、カラフトマス遡上時期前までに完成させる。また、捕獲コストの低減を図るため、わなの複数年使用と部材のパーツ化を図るとともに、規模の大きいものでも100 m<sup>2</sup>程度とする。

### 5 囲いわな設置数

	25年度	26年度	27年度	28年度
ウトロ地区（S07）	2	4	6	6
遠音別地区（S08）		3	5	5
真鯉地区（S10）		2	2	2

### 6 銃による捕獲箇所数

	25年度	26年度	27年度	28年度
遠音別地区（S08）		1	2	2

（注：ウトロ地区での斜里町による銃捕獲は含まない）

### 7 林道等除雪による一般狩猟支援

	25年度	26年度	27年度	28年度
遠音別地区（S08）	1	1	1	1
真鯉地区（S10）		1	1	1

なお、上記箇所以外にも、囲いわな設置に伴う周辺除雪が一般狩猟の支援に繋がるものと考えている。

8 今年度の捕獲予定箇所のうち営巣地近隣にあるものについては、希少猛禽類研究者と箇所ごとに検討を行い（26年5月と6月）、営巣状況によっては捕獲期間を短縮するといった対応をとることで、一定の理解を得られている。

#### 9 個体数推移の試算

平成23年2月の環境省ヘリセンサス結果をベースに、その発見率0.3（岩尾別地区等と同じ）、年増加率1.2（自然死を見込まない）、狩猟と斜里町による有害駆除は現状実績が続くものとし、別紙のと通りの捕獲を行った場合の個体数推移は以下のとおり。

	23年2月		25年度捕獲後		28年度捕獲後	
	ヘリ密度	推定個体数	ヘリ密度	推定個体数	ヘリ密度	推定個体数
ウトロ地区	16.4 頭/km <sup>2</sup>	737 頭	19.9	894	16.4	737
遠音別地区	19.2	1450	26.5	2000	26.1	1975
真鯉地区	15.4	1083	12.5	879	12.5	877

（注1：真鯉は、S10とオチカバケを合計したもの）

（注2：ヘリ密度とは、ヘリセンサスペースに換算した密度）

また、知床財団による越冬期ロードセンサスでは、遠音別地区の北半分（保護区内）のカウント数は平成22年度161頭から25年度237頭に増加（1.5倍）しており、この傾向と上記試算数値（1.4倍）はほぼ同様の傾向となっている。

なお、別紙の捕獲数については低めに想定したものであること、林道等除雪による捕獲支援効果、わなの貸し出し及び24年春などに多数見られた自然死を見込んでいないこと、発見率は0.3よりも高い可能性があることから、個体数は上記試算数値よりも低くなる可能性もある。

仮に、発見率を0.4とした場合には遠音別地区のヘリ密度は、15.8頭/km<sup>2</sup>となるなど、不確定要素が非常に大きい試算値である。

知床世界遺産隣接地域での  
エゾシカ捕獲の検討案  
(H26～28シカ年度)

鳥獣保護区(罝いワナ等)

可猟区(林道等の除雪、罝いワナ、モバイルカリング等)

遺産隣接地域

世界遺産地域

ウトロ東 27年度～

ウトロキャンプ場 25年度～

ウトロ支所裏 26年度～

フンベ川 26年度～

弁財崎 27年度～

三段滝 25年度～

オシンコシン崎 26年度～

オシンコシン崎 27年度～

オペケブ 27年度～

遠音別 26年度～

遠音別 27年度～

オペケブ(除雪)25年度～

オペケブ(モバイルカリング外) 26年度～

マコイ左岸 26年度～

金山川 26年度～

金山川(除雪) 26年度～

S07  
宇登呂

S10  
真鯉

S08  
遠音別

囲いワナ知床世界自然遺産隣接地域でのエゾシカ捕獲の検討案

平成26シカ年度

地 域	捕獲方法	箇所数	捕 獲 期 間	規制等	捕獲目標	備 考
S07 宇登呂	囲いワナ	4基	H26.12 下旬～H27.4 月下旬	国鳥獣保護区	150頭	ウトロキャンプ場、ウトロ支所裏外、フンベ川、三段滝
S08 遠音別	囲いワナ 銃 除雪・支援	3基 1箇所 2箇所	H26.12 下旬～H27.4 月下旬 H27.3 月上旬～H27.3 月下旬 H26.12 月上旬～H27.2 月下旬	可猟区	250頭 10頭 頭	オシンコシン崎、オケペプ川、遠音別、(三段滝) オペケプ林道・支線林道 オペケプ林道・支線林道
S10 真鯉	囲いワナ 除雪・支援	2基 2箇所	H26.12 下旬～H27.4 月下旬 H27.2 中旬～H27.2 月下旬	可猟区	30頭 頭	マコイ左岸、金山川 マコイ左岸、金山川
合計					440頭	

平成27シカ年度

地 域	捕獲方法	箇所数	捕 獲 期 間	規制等	捕獲目標	備 考
S07 宇登呂	囲いワナ	6基	H27.12 下旬～H28.4 月下旬	国鳥獣保護区	205頭	ウトロキャンプ場、ウトロ支所裏、ウトロ東、フンベ川、弁財覆道、三段滝
S08 遠音別	囲いワナ 銃 除雪・支援	5基 2箇所 2箇所	H27.12 下旬～H28.4 月下旬 H28.3 月上旬～H28.3 月下旬 H27.12 月上旬～H28.2 月下旬	可猟区	320頭 60頭 頭	オシンコシン崎、オケペプ川、遠音別、(三段滝) オペケプ林道・支線林道、オシンコシン崎 オペケプ林道・支線林道
S10 真鯉	囲いワナ 除雪・支援	2基 2箇所	H27.12 下旬～H28.4 月下旬 H28.2 中旬～H28.2 月下旬	可猟区	25頭 頭	マコイ左岸、金山川 マコイ左岸、金山川
合計					610頭	

平成28シカ年度

地 域	捕獲方法	箇所数	捕 獲 期 間	規制等	捕獲目標	備 考
S 0 7 宇登呂	囲いワナ	6 基	H28.12 下旬～H29.4 月下旬	国鳥獣保護区	1 6 5 頭	ウトロキャンプ場、ウトロ支所裏外、フンベ川、三段滝
S 0 8 遠音別	囲いワナ 銃 除雪・支援	5 基 2 箇所 2 箇所	H28.12 下旬～H29.4 月下旬 H29.3 月上旬～H29.3 月下旬 H28.12 月上旬～H29.2 月下旬	可猟区	2 7 0 頭 6 0 頭 頭	オシンコシン崎、オケペプ川、遠音別、(三段滝) オペケブ林道・支線林道、オシンコシン崎 オペケブ林道・支線林道
S 1 0 真鯉	囲いワナ 除雪・支援	2 基 2 箇所	H28.12 下旬～H29.4 月下旬 H29.2 中旬～H29.2 月下旬	可猟区	2 0 頭 頭	マコイ左岸、金山川 マコイ左岸、金山川
合計					5 1 5 頭	

※積雪状況等によっては3月下旬～4月上旬に効率良く捕獲が可能となることから、契約を伴わない捕獲（協定等）による捕獲の実施を検討する。